

笠原小学校（宮代町）

2014年9月 訪問
埼玉モダンたてももの学生レポーター
埼玉大学教養学部 島澤 陽平



瓦屋根と赤色の壁が目を引き、
個性的な建築の小学校です。

この学校は、昭和56年に開校し
ました。

校庭の周りには、藤棚が作ら
れています。

5月には、見事な藤の花が咲き
乱れます。

ほとんどの児童たちは、ここ
をくぐって登校してくるそう
です。



藤棚の下には、「ぶどう」をデザ
インしたタイルが敷かれています。

このぶどうは、宮代町の特産品な
んだそうです。

近くの歩道にも、同じデザインの
タイルがあります。

探してみてください！

それでは、建物内部を見ていきましょう！

各教室の前に、下駄箱が備えられ
ています。

これは、教室を「家」に見立てる
と、「玄関」にあたるようになります。



各教室の前には、花壇があり、花
や作物を育てられるようになって
います。

家でいうと、「前庭」にあたるこ
ところになります。

2階の教室でも、外から階段が
あって、直接教室へ入れるよう
になっています。



ちなみに、「はだし」での健康教
育を実践しているそうで、各教室
の前に「足洗い場」があります。

教室を「家」と見たように、この学校のコンセプトは、全体を「まち」として設計したということ。

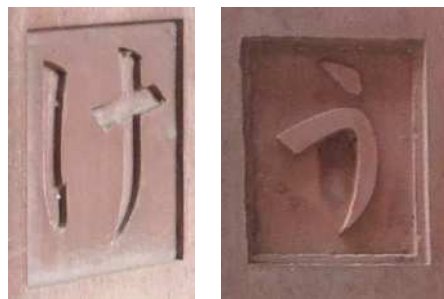
校庭には、山や、池も作られています。



校舎に入って一番目を引くのは、さまざまな「ことば」が埋め込まれた柱でしょう。

「ことば」は、ことわざ、童謡や各県の名前、宮沢賢治のことばなどさまざまです。

ちなみに、文字がくぼんでいるものと、出っ張っているものの2種類があります。



この赤色は、あとから塗られたものでなく、建築するとき、コンクリートに塗料を混ぜ込んで、色を出したそうです！

教室の廊下側に、張り出している場所があります。



中は、このようになっています、いすが向かい合わせになっています。



これは「汽車コーナー」といって、客車にある、「ボックス席」をイメージしたものだそうです。



※イメージ

外にいる子と、教室の中にいる子が、窓を通してコミュニケーションを図れるように作られているとのこと。

楽しそうですね！



2階の広場には、なにやら網で囲まれた場所があります。

じつはここ、「展望台」になっていて、校舎の前にある校庭を一望できるようにしているんです！

ユニークな仕掛けですね！



↑展望台からの景色はこんな感じです！↑

ほかにも、こんなものを見つけました！



校舎の柱の下側ですが、階段状に出っ張っているところがあります。

デザインとして作られたものなのですが、いす代わりに使う子どもも多いようです。

廊下の手すりに、なにやら丸いものがついています。

動かすことができるので、そろばんのイメージなのでしょうか。

その下の向かい合いのいすもかわいい！





こんなところにも、校舎を「家」と見立てる表れが・・・
家の形をした格子を見つけました！
4軒連なったデザインも素敵です。

天井を見上げると、星座が
かたどられているところがあり
ます。



頭の上なので、なかなか気が
つきませんが・・・

もしかすると、昼間でも星座
を覚えられるような、粋な計
らいなのかもしれません。



階段の手すりで見発見！
よく見ると、「カエル」の形になって
いると思いませんか？



階段の手すりだけではなく、
よく見ると、水のみ場もカ
エル形になっていました。

目のところが鏡になってい
るのが、おもしろい！

校舎をひと回りしてみると、細かいところの装飾が、子どもに楽
しめるように、また知識を伝えられるように作られているよう
に感じました。

授業以外でも、さまざまなことを学べるような仕掛けが、この校
舎にはあると思いました。